

仙高の風

仙台市立仙台高等学校地域情報誌
水平線の見える学校
令和6年9月26日発行



第77回仙高祭開催 テーマ『～Giri Happyより 超Happy～』

8月30日(金)【校内公開】、31日(土)【一般公開】に仙台高校の2大行事の一つである仙高祭が実施されました。大規模改修工事に伴い、様々な制限がある中、実行委員会を中心に様々な企画の工夫がありました。開会式後の吹奏楽部の演奏、ダンス部のダンスパフォーマンス等、冒頭から大変な盛り上がりでした。



一般公開では、保護者のみの来場という制限はありましたが、お化け屋敷や仮装した駄菓子販売等、工夫を凝らした3年生の模擬店には長蛇の列ができていました。また、仮設校舎1階ではPTAバザーが出店され、歴代の卒業アルバムも展示もありました。

閉会式では今回の文化祭テーマの発案者である2年菅野鳴水さんの表彰や岩井校長からの講評、実行委員長によるマイクパフォーマンスで祭りの最後を締めました。



文化部の展示発表では見応えのある研究発表や制作体験等がありました。写真右は茶道部によるお手前披露、左は書道部の団扇の揮ごう体験の様子です。



閉会式では今回の文化祭テーマの発案者である2年菅野鳴水さんの表彰や岩井校長からの講評、実行委員長によるマイクパフォーマンスで祭りの最後を締めました。

まず、よっしょーだろ!!

仙高祭実行委員長 3年 鈴木一咲さん

まずはじめに、準備期間から当日の2日間まで多くの人たちに支えられ、実施できたことに感謝いたします。今年度の仙高祭は大規模改修工事があり、使える教室に制限がかかったり、仮設校舎での展示発表があったりと例年とは異なる中で行いました。計画当初は、例年行っている花火の打ち上げができるかどうかさえ分からないギリギリの状態でした。しかし、実施に向け、全校生徒の募金や業者の方々の協力もあり、無事に打ち上げることができました。

3年生の模擬店の準備では、計画が複雑になってしまい、料金設定等も決まらず、とても焦りました。しかし、各クラスの模擬店係を中心に、夏休み中も登校し準備をすすめてくれました。

有志企画では、3年生を中心に、部活動単位での参加もあり、大いに盛り上がりました。校外で身に付けた特技を披露する生徒もいました。普段の学校生活では見られない一面を見ることができ、とても新鮮に感じました。3年生ダンス部は最後のパフォーマンスということもあり、部員や友人、保護者の方も涙ぐむシーンが見られ

感動的なものとなりました。最後までカッコいいダンスを見せてくださり、ありがとうございました。

夏休み中、私とともに毎日仕事をしてくれた副実行委員長、あなたには最大限に感謝しています。様々なトラブルを抱えながら、準備にあたってくれた文化祭実行委員と先生方のおかげでなんとか成功に導く

ことができました。体育祭からの契りを文化祭まで継続できたことに全校生徒のみなさんのパワーを感じました。改めて、今年度最後の「祭」に協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。



PhoenixPlan講演会

9月12日(木)、環境教育の一環として、本校実習助手の鈴木由紀子先生を講師に、「南極と地球環境」という演題で講演を行いました。由紀子先生が南極観測隊の一員として南極調査を行った体験談を地球環境の保全という観点からお話をいただきました。



部活動結果報告

陸上競技部 県高校新人陸上競技大会

2年 大泉 凜さん 女子やり投 **優勝**

2年 遠藤 陽向さん 男子やり投 **第2位**

9月27日から青森県で開催される**東北新人大会出場**

以下入賞者 2年 村上由乃さん 女子やり投 **第5位**

女子砲丸投 **第7位**

2年 成田梨恋さん 女子棒高跳 **第7位**

2年 竹川龍一さん 男子走幅跳 **第6位**

男子三段跳 **第8位**

1年 佐藤虎太郎さん 男子八種競技 **第7位**

硬式野球部 秋季高校野球宮城県大会 **ベスト8**

美術部TV取材

9月17日(火)、NHKテレビ「てれまさむね」番組内の「てれまさ美術部」に本校美術部員が出演しました。季節のオブジェを制作し、スタジオに飾る内容でした。3年榎屋心優さん、2年寺



島大雅さんがインタビューに答えている場面もありました。NHK仙台放送局からアーカイブ配信されており、放映内容を視聴できます。

2024仙高文芸部の、熱い夏。

今年、仙台高校文芸部はひととき暑い夏を過ごしました。

8月上旬、文化部のインターハイと呼ばれる、全国高等学校総合文化祭ぎふ総文に、詩分野の宮城県代表として、本校3年で部長の佐藤文菜さんが参加しました。白川郷を擁する風光明媚で知られる飛騨高山での文学研修(殺意を感じる灼熱の太陽!)を皮切りに、日ごろから言葉と格闘する全国の仲間たちと交流し、詩の合評をはじめとする充実した研修を行うことができました。佐藤文菜さんの大会感想から一部を紹介します。「(略)あたたかい空気感でお互いの作品の魅力を伝えあい、解説を聞いて

さらに理解を深めていくことはとても楽しかった。こうして語り合うことができるのも、同じ文芸に親しむ仲間だからこそ。(略)全国四十七の作品から心惹かれた三作品を選び、感想を書く投擲通信では桂川先生と六人の生徒から講評をいただき、(略)全力でぎふ総文を楽しむことができました。来年からこの夏が来ないことはとても寂しいが、実りある四日間を過ごせたことを幸せに思う。」

8月中旬には2・3年生4名でチームを組み、盛岡市開催の全国高校生短歌大会短歌甲子園2024に予選審査を通過し出場しました。仙高文芸部は日ごろから特に短歌に力を入れて活動しています。短歌の対戦形式で競われるこの大会には、ここ数年連続して全国に出場させていただいています。今回も検討会を繰り返し万全の態勢で臨み、決勝トーナメントまで進出。優勝した八戸西に敗れベスト8となり、審査員特別賞をいただきました。

8月下旬には富山県高岡市開催の高校生万葉短歌バトルに、こちらも予選審査を通過し出場ができませんでした。3名1チームです。一昨年にはリモート開催となり仙高視聴覚室から参加し、全国優勝した大会です。今回初めてリアルに高岡の地を踏み、こちらも全国の仲間と切磋琢磨することができました。ディベートを含む対戦形式で、より批評力が問われます。前日夜まで検討を繰り返して臨み、こちらも優勝した神奈川県立光陵高校に敗れベスト8、優秀賞という結果でした。審査員で歌人の小島ゆかり先生に印象に残った短歌として取り上げていただいた、2年田巻侑華さんの短歌を紹介します。水面に触れるみたいに僕の手に触れて静かに波を立てて(題「水」)

9月上旬の仙高祭で発行する文芸部誌「Spirits83号」の編集作業にも取り組んでいた仙高文芸部。同時進行でこれらの大会に参加し、密度の濃い、本当に充実した熱い夏を過ごしました。文芸部誌「Spirits83号」は、先日の県コンクールで県最優秀賞をいただくことができました。これからも言葉と格闘する仙高文芸部の応援をよろしく願います！

文芸部顧問 石川 千春 教諭



フレッシュ先生研修

9月4日(水)1校時、1年6組教室において鈴木太一先生による研究授業が行われました。これはフレッシュ先生1年次研修の一環として行われ、魅力ある授業づくりや日々の授業改善等を目的に実施されています。



模試分析会



9月5日(木)、ベネッセコーポレーションの山口奈留実様を講師に、1・2年生を対象とした模試分析会が行われました。模試の結果分析のみならず、普段の授業への取り組み方や将来を見据えた学習計画のアドバイスがありました。

PTA研修旅行

9月20日(金)、PTA会員の研修と親睦を深めることを目的としたPTA研修旅行がありました。32名の参加があり、今年度は岩手巖美溪散策、サハラガラスパークでのハンドグラヴィール体験、世喜の一酒造・文化博物館の見学等を行いました。岩井校長を含め8名の教職員も参加しました。



〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1 担当:主幹教諭 阿部頼人
Tel 022-271-4471 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。

